

# 業務実績報告書

提出日 2020年1月20日

1. 職名・氏名 准教授・山崎 淳

2. 学位 学位 修士、専門分野 経営情報学、授与機関 多摩大学、授与年月 1998.3

## 3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 ワークショップ (ベンチャー企業・起業 (創業) 論) (2 単位) (2017 年度、2019 年度 (隔年)) 大学院博士前期課程
② 内容・ねらい 知識集約的な現代的イノベーターとしての中小企業であるベンチャー企業および起業家の理解を深める。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ベンチャー企業を分析するための「構造的アプローチ」の全体像を解説し、ベンチャー企業の成功要因分析を行った。さらに各自が事例研究を行い発表するなど実践的な内容とした。
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 中小企業論 I (2017 年度～2019 年度) (2 単位) 2 年次、中小企業論 (2 単位) 2 年次 (2013 年度～2019 年度)
② 内容・ねらい 中小企業は、多様な存在であることから、理解を深めるためには基礎知識と理論的枠組み、その上で獲得された確かな分析視点で実態に迫ることが求められる。そこで、中小企業におけるさまざまな議論と事例を解説しながら、中小企業の「問題性」、「発展性」を含めた本質に迫るための基礎的枠組みを提供した。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 中小企業が地域社会の形成者であることに着目し、地域経済の担い手としての役割について身近な事例を紹介することで、学習意欲を高めるよう工夫した。中小企業経営者から入手した映像資料を活用するなど、臨場感のある授業を目指した。また、現実的課題を理解するためにケース・スタディを試みた。
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 中小企業論 II (2017 年度～2019 年度) (2 単位) 2 年次
② 内容・ねらい 中小企業政策、中小企業金融など基本的な知識について理解ができるようになることを狙いとしている。さらに中小企業に関する議論を示すことはもちろんのこと、知識集約的なイノベーターとしての中小企業である「ベンチャー企業」についての理解を深めるところまで発展させる。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 新聞記事をとおして学んだ内容について議論を行い、現実的課題を理解する工夫した。中小企業経営者から入手した映像資料を活用するなど、臨場感のある授業を目指した。また、現実的課題を理解するために新規事業開発の演習を試みた。
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 演習 I (4 単位) 3 年次 (2017 年度～2019 年度)
② 内容・ねらい 中小企業、ベンチャー企業を研究対象とした。具体的には、「企業とは何か」からはじめ、中小企業・ベンチャー企業の経営の特徴を理解することを目指した。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

基本テキストを活用し討議を行った。問題提起、自己の主張ができるよう丁寧に議論を重ねた。夏休みを利用し学外研修（研究発表、事業アイデア発表、事業承継プランの提案、中小企業見学、大手企業工場見学）を実施した。

経営者への質問・応答の機会を提供し、企業経営の現実的課題を理解し、卒業論文のテーマの絞り込みを行えるように工夫した。

また、実務家・専門家との交流を行い、専門知識の習得に加え、社会人としての心構えを意識できるようにした。

なお、2017年度、2018年度、2019年度は、社団法人横浜市工業連合会横浜青年経営者会、中小企業支援機関（公益財団法人横浜企業経営支援財団他）の協力を得て研究発表会を開催した。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等  
演習Ⅱ（4単位）4年次（2017年度～2019年度）

② 内容・ねらい

演習Ⅰでの学習を発展させ、関心のあるテーマを設定し卒業論文の作成に取り組む。卒業論文の作成をとおして、論理的な思考力、分析力、文章力を養う。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

卒業論文の作成をとおして、文献、資料の集め方、調査（フィールドワーク）の準備、経営者へのインタビューに同行するなど支援を行った。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等  
基礎ゼミ（2単位）2年次（2017年度～2019年度）

② 内容・ねらい

起業家の特徴を理解する。起業家（アントレプレナー）が新たな事業を創出し、挑戦することの魅力に気づき、起業家への理解を深める。自ら調査・分析し、その結果を伝える能力を養う。2018年度、2019年度は、アンケート調査の分析結果、事例研究の成果についてポスター発表を行った。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

誰もが知る日本の起業家についての本、雑誌、記事、映像を活用し理解を深めた。さらにグループでの分析、発表、さらに各自の注目する起業家について調べ、発表することで学習意欲を高める工夫を行った。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等  
外書講読Ⅰ（2単位）2年次（2017年度～2019年度）

② 内容・ねらい

世界のベンチャー企業、中小企業の動向、起業家の視点について理解する。経営・経済用語について理解し、最新の企業経営の知識を高める。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

世界的に活躍するベンチャー企業、起業家、企業家精神に関する海外のインタビュー記事、資料、起業家の座右の書などを活用した。外書で理解した内容から発展問題に取り組むことで興味を高め、今後の学習につなげるようにした。グループワーク（議論、発表）による学習方法を取り入れた。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等  
地域経済論（2単位）3年次 2018年度（隔年）

② 内容・ねらい

地域に関するさまざまな議論を示す。そして地域経済の基礎知識を習得したうえで、海外諸国の動向、日本の動向について把握していく。さらに身近な福井県の事例を取り上げ、現実的課題についての理解を深める内容とした。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 事例や映像資料を用いることで学習意欲が高まるよう工夫した。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 教養特講 D（福井を学ぶ）（2 単位）1・2・3 年次 （2017 年度～2019 年度）（※オムニバス、分担）
② 内容・ねらい 「地域と中小企業 福井の事例から考える」をテーマとした。福井地域経済の特徴を示したうえで、「福井県」の中小企業の量的把握を試みた。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 地域と中小企業について福井県内の身近な事例を用いることで学習意欲が高まるよう工夫した。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 地（知）の拠点 「福井で働くということ」（2 単位）1・2・3 年次 （2017 年度）（※オムニバス、分担）
② 内容・ねらい 「働き、事業を創造する」をテーマとした。福井で働くこと、福井で事業を創造することの意義について考える。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 福井県で事業を展開する経営者をゲストに身近な話題も交えながら福井で「働くこと」、「事業を創造し挑戦すること」に興味をもってもらえるようにした。
<b>(2)非常勤講師担当科目</b>
①担当科目名（単位数） 開講学校名 中小企業論 I（2 単位）関東学院大学（2017 年度～2019 年度）
②内容・ねらい 中小企業におけるさまざまな議論と事例を解説しながら、中小企業の「問題性」、「発展性」を含めた本質に迫るための基礎的枠組みを提供することを主たる内容とした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 中小企業に関する議論を示すことはもちろんのこと、知識集約的なイノベーターとしての中小企業である「ベンチャー企業」についての議論まで発展させ興味をもてるようにした。
④本学における業務との関連性 多くの学生との議論、そして指導をすることによって本学での中小企業論の授業改善に役立てることができる。また、講義の準備は本学での研究に応用できる。
①担当科目名（単位数） 開講学校名 中小企業論 II（2 単位）関東学院大学（2017 年度～2019 年度）
②内容・ねらい 多様性の中にみられる中小企業の本質に迫るための基礎的枠組みを提供することを主たる内容とした。また、中小企業は地域社会の形成者であることに着目し、地域経済の担い手としての役割について理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 配布資料、映像資料などを活用し、学習意欲が高まるよう工夫した。また、質疑応答の時間を確保することで理解が深まるようにした。
④本学における業務との関連性 多くの学生との議論、そして指導をすることによって本学での中小企業論の授業改善に役立てることができる。また、講義の準備は本学での研究に応用できる。
①担当科目名（単位数） 開講学校名

地域経済論（2単位） 関東学院大学（2017年度～2019年度）
②内容・ねらい 地域におけるさまざまな問題の発生のメカニズムについてさまざまな角度から考え、地域のあり方、これからの方向を考える基礎となる知識、視点を獲得する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 現実的課題についての理解ができるように神奈川県、横浜市という身近な事例を取り上げ、横浜市の調査レポートなどを活用した。
④本学における業務との関連性 多くの学生との議論、そして指導をすることによって本学での地域開発論の授業改善に役立てることができる。また、講義の準備は本学での研究に応用できる。
(3)その他の教育活動 「中小企業論」、「キャリアデザイン概論・特論」の受講学生及び希望者に対する企業見学会の実施（2017年度、福井県内1社訪問） 「生産管理論演習Ⅰ」と「中小企業経営論演習Ⅰ」と合同で大手自動車メーカー工場への見学を実施（2017年度） 「生産管理論演習Ⅰ」と「中小企業経営論演習Ⅰ」と合同で福井県内大手企業事業所への見学を実施（2017年度） 「中小企業論」、「キャリアデザイン概論・特論」の受講学生及び希望者に対する企業見学会の実施（2018年度、福井県内1社訪問）

#### 4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①論文
②著書
③学会報告等
④その他の公表実績 「第IV章 組合と情報～組合の新たな展開及びその支援～」47～59頁、『平成28年度中小企業組合制度研究会報告書』全国中小企業団体中央会、2017年 『平成28年度中小企業活路開拓調査・実現化事業 成果調査報告書』76～77頁、全国中小企業団体中央会、2017年 『平成29年度中小企業活路開拓調査・実現化事業 成果調査報告書』80～81頁、全国中小企業団体中央会、2018年 『平成29年度中小企業活路開拓調査・実現化事業 成果調査報告書』80～81頁、全国中小企業団体中央会、2019年 「中小企業組合等活路開拓事業（展示会等出展・開催事業を含む）の成果について」『平成30年度中小企業活路開拓調査・実現化事業 成果調査報告書』1～3頁、全国中小企業団体中央会、2019年 『中小企業活路開拓調査・実現化事業「中小企業組合等活路開拓事業（展示会等出展・開催事業を含む）」の本年度事業実施状況について』『平成30年度中小企業活路開拓調査・実現化事業 運営委員会報告書』2～4頁、全国中小企業団体中央会2019年 「第IV章 中小企業組合に求められる取組み 1. 動向及び新たな方向を踏まえた事業協同組合に求められる取組み」『平成30年度中小企業組合のあり方研究会報告書』53～64頁、全国中小企業団体中央会、2019年 論壇「中小企業の可能性を広げる総務ならびに総務部門」『商工金融』59頁、商工総合研究所、2019年

(2)学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動
学会での役職など
学会・分科会の開催運営
(3)研究会活動等
① その他の研究活動参加
② その活動による成果
(4)外部資金・競争的資金獲得実績
(5)特許出願

## 5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会 全国中小企業団体中央会 ・「中小企業組合のあり方研究会」委員 (2018)
② 国・地方公共団体等の調査受託等
③ (公益性の強い) NPO・NGO 法人への参加
④ (兼業規程で業務と見なされる範囲内での) 企業等での活動
⑤ 大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 北陸地域政策研究フォーラム (福井会場) の準備、運営 (2018 年)
⑥ その他 講演 山梨県中小企業団体中央会 新春特別セミナー2020 テーマ「中小企業組合の今日的課題と新たな方向」2020 年 1 月 講演 宇宙航空開発関連部品調達支援プロジェクト 例会 テーマ「各地域の航空関連コンソーシアムの取り組み」2020 年 1 月 (予定) 講演 富山県中小企業団体中央会 研究会 テーマ「事業協同組合の動向と今後求められる取り組み」2020 年 2 月 (予定)  新聞記事掲載 神奈川新聞 2017 年 8 月 9 日 (水) 「中小の成長戦略 大学生が考える 市内経営者と交流会」 (公財) 横浜企業経営支援財団で開催した経営戦略発表会交流会の取り組みについて テーマ「第 4 次産業革命を踏まえた中小製造業の成長戦略」
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座・オープンカレッジの開講 福井県立大学ビジネススクール 短期ビジネス講座 講師 「企業間連携の今日的意義を考える」(2018 年度)

② 社会人・高校生向けの講座 2017年度 羽水高校「中小企業論入門～地域と中小企業～」(開放講義) 2018年度 若狭高校「中小企業論入門～ものづくりと中小企業～」(開放講義) 2019年度 鯖江高校「中小企業論入門」(開放講義)
③ その他
(3)その他(個人の資格で参加している社会活動等)

## 6. 大学の管理・運営

(1)役職(副学長、部局長、学科長)
(2)委員会・チーム活動 経済学部 教育学習支援チーム(2017年年度、2018年度) 経済学部 オープンキャンパス学部企画運営委員会(2018年4月～現在) ハラスメント等人権問題委員会(2019年4月～現在)
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など